



西幼だより

第2号

令和6年4月26日
新潟市立西幼稚園

【教育目標】
しなやかに
たくましく

ブログも見てね!



(西幼稚園 HP)

「ワクワク」が「もっと〇〇したい」になるように

園長 渡邊 舞

新学期が始まり 1 か月余りが経ちました。園生活にすっかり慣れた7人。かわいい鳥の鳴き声が聴こえてきては「どこにいる?」と探し、ヘリコプターが上空を通過したときには一生懸命みんなで手を振るなど、子どもたちは「ワクワク」のアンテナを何本も立てながら遊んでいます。

先日畑にジャガイモを植え、次の日から水やりがスタート。年長さんが畑へと向かう姿を保育室から見た年少さんは「何するの?」と興味津々ですぐに年少さんも先生と一緒に畑にやってくるようになりました。慣れた手つきで水やりをする年長さんを見てまねて、うれしそうに水やりをする年少さんの姿があります。



年長さんは最近、巧技台を何段も積み重ね、ジャンプすることに挑戦しています。台がないと登れないくらい高いところから飛び降りることに挑戦。成功すると、「明日はもっと高くする!」と記録更新を目指しています。「先生も一緒に跳ぼう!」と誘われ、私たちもワクワクしながら思わずジャンプを楽しんでいます。



今年度の西幼稚園の目指す子どもの姿は『もの・ひと・ことに主体的にかかわり、「もっと〇〇したい」と遊びを楽しむ子ども』です。子どもたちが「何だろう?」「おもしろそう」「やってみたい」とさまざまなことに心を動かす瞬間を大事にしていきます。そこで感じた「ワクワク」した気持ちが「もっと〇〇したい」「次は〇〇してみよう」という意欲につながることを目指していきます。「もっと〇〇したい」という意欲がやがて、自分なりに思考し、粘り強く、さまざまなことに取り組む力につながっていくことを願い、子どもたち一人一人の成長を支えていきます。

生活の中で興味・関心をもち、主体的にかかわりながら「ワクワク」してほしいと願います。「ワクワク」したことが次の経験につながる過程の中で自分なりに考えたり、試したり、ときには失敗したりすることがあります。その過程にこそ学びがあります。子どもたちの「ワクワク」した瞬間にストップをかけず、もっと高く跳びたいという年長さんの姿のように、上昇志向や自分なりの課題に向き合う姿などに、まずは寄り添っていきます。大型連休がやってきます。ご家庭でもお子さんのワクワクする瞬間がたくさんあることと思います。ぜひお子さんのワクワクする瞬間に寄り添い、保護者のみなさまも一緒に感じながらお子さんとともに「ワクワク」してください。そして、今年度、子どもたちと一緒に保護者のみなさま、地域の方、職員みんなでワクワクしていきましょう!